

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 29-004

PDCA	事務事業名	美術展開催事業	部課等名	教育部 生涯学習課 生涯学習担当	担当	蟹江	
					内線等	23-7341	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 3. 文化の継承と創造 単位施策： (2) 文化の振興 個別施策： ①文化事業の充実					
	根拠法令等	文化芸術振興基本法					
	対象・目的	一般公募による美術展を開催し、多くの方に来場してもらうとともに出品点数の増加に努め、市民の芸術文化に関する意識の高揚と技術の向上を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・年4回美術展運営委員会を開催。 ・出品者の市内外を問わず作品を公募し、3日間、雁宿ホールで美術展を開催する。 ・市報、HP等でPRする。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①美術展来場者数来場者数	1,701	1,666	1,811	人	
		②					
		③					
		事業費	1,907	1,889	1,912	千円	
		人件費	2,984	3,299	3,008	千円	
		総事業費	4,891	5,188	4,920	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
	①出品一点あたりのコスト	15	16	18	千円/品		
	②						
	③						
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①美術展来場者数	実績値	1,701	1,666	1,811	人
			目標値	2,100	2,100	2,100	
②美術展出品点数		実績値	317	329	284	点	
		目標値	330	330	330		
③		実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	小さい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	C					
		日頃の文化芸術創作活動の発表の場として、また市民が優れた芸術作品に身近な場所で鑑賞できる場として美術展を開催し、文化芸術の振興に寄与することができた。来場者数に関しては例年を大幅に上回ることができたのに対し、今年度は出品点数が大幅に目標値を下回っている為、引き続き来場者、出品者へのアプローチ方法が課題である。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
		3年前から実施している会期中の体験講座では、気軽に簡単な芸術制作に触れられる良い機会であるのに対し、外部に対する周知が十分でない。美術展来場者のメインターゲットである年配層へのPR方法につき、今一度工夫を図りながら、事業を継続していく。また、新たな層に対し出品案内のアプローチをすることで、出品点数の増加を試みながら事業を継続していく。					
		令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位		
			①美術展来場者数	2,100	人		
②美術展出品点数	330		点				